

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2019-12131(P2019-12131A)

【公開日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2017-127636(P2017-127636)

【国際特許分類】

G 10 H 1/053 (2006.01)

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 H 1/34 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/053 C

G 10 H 1/00 A

G 10 H 1/34

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出処理と、
前記タンギング奏法検出処理により演奏者のタンギング奏法を検出している際に、センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音処理と、
を実行する制御部を備えることを特徴とする電子管楽器。

【請求項2】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が先端側の第1リップ位置の場合に、基準リップ位置の場合より発音される音が小さく低減するように制御することを特徴とする請求項1に記載の電子管楽器。

【請求項3】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が基端側の第2リップ位置の場合に、基準リップ位置の場合より発音される音が大きく低減するように制御することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の電子管楽器。

【請求項4】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が前記第1リップ位置より先端側の第3リップ位置の場合に、発音される音が低減しないように制御することを特徴とする請求項2に記載の電子管楽器。

【請求項5】

前記センサは少なくともマウスピース及びリードのいずれか一方に設けられている少なくとも1つ以上の接触センサであり、

前記タンギング奏法検出処理は前記接触センサの出力値にしたがってタンギング奏法を検出し、

前記消音処理は前記接触センサの出力値にしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音する音を弱音化することを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1

項に記載の電子管楽器。

【請求項 6】

電子管楽器の制御方法であって、
演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出ステップと、
前記タンギング奏法検出ステップにより演奏者のタンギング奏法を検出している際に、
センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音ステップと、を含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

電子管楽器用のプログラムであって、
電子管楽器の制御部に対して、
演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出処理と、
前記タンギング奏法検出処理により演奏者のタンギング奏法を検出している際に、センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音処理と、を少なくとも実行させることを特徴とするプログラム。